

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和106年12月26日

計画の名称	神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり（防災・安全）													
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	神戸市													
計画の目標	神戸市の市街地において、土地区画整理事業等により、道路等の公共施設の整備改善や老朽建築物の建替促進を図り、地区の防災機能や住環境を高めることで安全・安心なまちづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		5,484	A	5,473	B	0	C	11	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.2	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6末		R11末
1	土地区画整理事業区域内において、歩車分離された都市計画道路鈴蘭台幹線を整備することにより、通学路の安全度を向上させる。 通学路の安全度：歩車分離を図り、整備後に通学路となる都市計画道路鈴蘭台幹線の整備率 〔通学路（鈴蘭台幹線）の整備延長〕（m）／〔通学路（鈴蘭台幹線）の計画延長〕（548m）×100			
		0%	%	100%
2	土地区画整理事業区域内において、老朽木造建築物の延床面積指数を減少させる。 老朽木造建築物の延床面積指数：昭和55年以前の木造建築物の延床面積の従前値を100とした指数 100×〔事業後の老朽木造建築物の延床面積〕（㎡）／〔現況の老朽木造建築物の延床面積〕（849㎡）			
		100		12

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	鈴蘭台駅北地区 都市再生 区画整理事業	土地区画整理事業 A=7.5ha	神戸市	■	■				1,519	1.36	－
											小計						1,519		
地域住宅計画に基づ く事業	A15-002	住宅	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	鈴蘭台北地区 住宅市街地 総合整備事業	老朽建築物等除却 A=8.46h a	神戸市	■	■	■	■	■	440		策定済
											小計						440		
道路事業	A01-003	街路	一般	神戸市	直接	神戸市	区画	新設	鈴蘭台幹線（鈴蘭台駅北 側）	道路整備 L=548m	神戸市	■	■				3,514		－
											小計						3,514		
											合計						5,473		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R07	R08	R09	R10	R11													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
備考																			
地域住宅計画に基づ く事業	C15-001	住宅	一般	神戸市	間接	神戸市等	－	－	まちづくり活動推進事業	まちづくり専門家派遣	神戸市	■	■	■	■	■	10	－	
		基幹事業と一体的に実施することで、良好な街なみの形成を誘導する。																	
	C15-002	住宅	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	まちづくり活動推進事業	まちづくり助成	神戸市	■	■	■	■	■	1	－	
		基幹事業と一体的に実施することで、良好な街なみの形成を誘導する。																	
											小計						11		
											合計						11		

事前評価チェックシート

計画の名称： 神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

参考図面

